

令和元年度

山形県議会広報・広聴委員会報告書

令和2年3月12日

山形県議会広報・広聴委員会

目 次

1	協議の経過及び結果について（概要）	1
2	令和元年度議会広報・広聴事業実績	2
3	令和2年度議会広報・広聴事業計画	6
4	山形県議会広報・広聴委員会委員名簿	8

(参考資料)

○	令和元年度議場演奏会と議会見学会 参加者アンケートとりまとめ結果について	9
○	令和元年度生徒・学生と県議会議員との意見交換会 の実施状況について	13

1 協議の経過及び結果について（概要）

山形県議会広報・広聴委員会は、県議会の活動状況を広く県民に伝えるとともに、県民の声を広く聴き、県民に県議会を身近に感じてもらうため、7回の委員会を開催した。

委員会では、広報誌の編集やテレビ広報番組の企画、「議場演奏会と議会見学会」、「県議会ギャラリー」、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」の実施方法等について協議を重ねながら、多岐にわたり県議会の活動に関する広報・広聴の充実に努めた。

今年度は特に、高校生等の若者に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るための取組みとして、県議会インターネット動画配信システムの改良等を実施したところである。

また、来年度の広報・広聴事業の方針等を検討し、引き続き、議場演奏会や意見交換会等を実施するとともに、経費の節減に努めながら効果的な広報・広聴事業のあり方を検討する必要があると思われる。

今後とも、「開かれた県議会」という基本目標の下、「身近な県議会」を目指し、議会の活動状況を広く県民に伝えるとともに、県民の意見を広く聴くための方策について、調査・検討を深めていくことを希望するものである。

2 令和元年度議会広報・広聴事業実績

1 広報誌等

(1) 「県議会だより」の発行

県民に議会活動の概要を伝えるため、年6回発行し、県広報誌「県民のあゆみ」に合冊して全戸配布（約40万部）した。

号	発行日	主な掲載内容
第72号	令和元年5月1日	平成31年2月定例会の概要
第73号	令和元年7月1日	令和元年5月臨時会の概要・新議員紹介
第74号	令和元年9月1日	令和元年6月定例会の概要
第75号	令和元年11月1日	令和元年9月定例会の概要
第76号	令和2年1月1日	決算特別委員会及び地域議員協議会の概要
第77号	令和2年3月1日	令和元年12月定例会の概要

(2) 「県議会やまがた」の発行

県民に議会活動を詳細に伝えるため、定例会ごとに年4回・各3,500部発行し、市町村、県内主要団体、NPO法人、大学・短大等へ配布した。

号	発行月	主な掲載内容
第25号	令和元年5月	平成31年2月定例会の概要
第26号	令和元年8月	令和元年5月臨時会・6月定例会の概要
第27号	令和元年11月	令和元年9月定例会の概要
第28号	令和2年2月	令和元年12月定例会の概要

(3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

選挙権年齢が引き下げられたことを踏まえ、有権者となり得る高校生を中心とした若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する興味を持ってもらうことを目的として、若者向け広報紙「県議会ナビ」を40,000部発行し、県内の高等学校及び特別支援学校高等部の全生徒・教員に配布したほか、大学・短大等へ配布した。

発行月	主な掲載内容
令和元年10月	山形県の参議院議員選挙投票率全国1位、選挙に関する大学生の声、議長インタビュー、県議会議員と山形大生との意見交換の様子、山形大生の委員会体験、県議会議員紹介（意気込みをひと言で）、議場演奏会レポート、生徒・学生との意見交換会の様子

(4) 「県議会のしおり」の配布

議会の役割、活動内容の周知を図るため、「県議会のしおり」を議事堂見学者等に配布した。

また、視覚障がいのある方向けに作成した点字版「県議会のしおり」について

も、議事堂見学者への配布や県議会ロビーに備え付けるなどして活用した。

2 議場演奏会と議会見学会

県民に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催した。

参加者アンケートの結果によると、満足度が高く、9割の方が再度の参加を希望している状況であった。

(開催概要)

- ・開催日 令和元年9月25日
- ・参加人数 126人
- ・実施内容 予算特別委員会の傍聴、議場見学、県議会の概要説明、議場における山形交響楽団による弦楽合奏の鑑賞

3 県議会ギャラリー

より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供した。

展示期間	展示校等
令和元年6月13日 ～7月4日	山形市立商業高等学校産業調査部（産調ガールズ）
令和元年9月13日 ～10月11日	平成30年度夏の省エネ「川柳・標語」「ポスター」コンテスト優秀作品
令和元年12月2日 ～12月12日	令和元年度県土未来図絵画・作文コンクール地方審査入賞作品
令和元年2月19日 ～3月19日	県立鶴岡中央高等学校総合学科家政科学系列（シルクガールズ）

(企画展)

展示期間	展示校等
令和元年7月16日 ～9月11日	やまがた百名山と里の名水やまがた百選 [環境エネルギー部]
令和元年10月14日 ～11月29日	山形県の4つの日本遺産 [教育庁]
令和元年12月13日 ～2年1月9日	やまがた景観物語 おすすめビューポイント53 [県土整備部]
令和2年1月14日 ～2月13日	令和元年度省エネ「川柳・標語」「ポスター」コンテスト優秀作品 [環境エネルギー部]

4 インターネット

(1) 県議会ホームページの運営

定例会・各常任委員会・3特別委員会・議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容など、議会の動きをわかりやすい内容でタイムリーに掲載した。

(2) 議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信した。

これまでのインターネット動画配信システムは、閲覧環境がパソコンのみに制限されていたことから、動画閲覧者の利便性向上を図るためシステム改良を行い、令和2年2月定例会からスマートフォン・タブレットも含め閲覧できるようにした。

(3) 会議録検索システムによる会議情報の提供

会議録検索システムに「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の会議録を登録し、県議会ホームページ上で、会議録の検索、閲覧、印刷、ダウンロードをできるようにした。

(4) ツイッター、フェイスブックの活用

山形県公式ツイッター、フェイスブックを活用し、定例会の日程告知、傍聴案内等の情報を提供した。

5 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

(1) YBC「やまがたサンデー5」 15分番組×2回

第1回	新たな4年! 信頼される県議会に向けて	令和元年7月7日(日) 17:15~17:30 放映
第2回	若者に身近な県議会 ～県民とのハーモニー～	令和元年10月6日(日) 17:15~17:30 放映

(2) 県政広報番組を活用した定例会の告知

県政広報番組の告知枠を利用し、各定例会の日程と傍聴案内を行った。

6 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の中継を実施した。

7 報道機関（パブリシティ）の活用

生徒・学生との意見交換会、議場演奏会と議会見学会、地域議員協議会の実施等について、県庁記者クラブへ情報を提供した。

8 広聴事業（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成

を図ることを目的として、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を5回開催した。

出席した議員は、正副議長、広報・広聴委員を中心に1校につき6人で延べ30人であり、参加した生徒・学生数は255人であった。

意見交換会では、若者の政治参加だけでなく、議会・議員に関することや県の施策に関することについても意見が交わされた。

(開催概要)

開催日	学校名 (所在地)	出席議員数	参加者数
令和元年9月5日	県立山形東高等学校 (山形市)	6人	78人
令和元年9月6日	県立庄内総合高等学校① (庄内町)	6人	21人
令和元年9月11日	県立庄内総合高等学校② (庄内町)	6人	24人
令和元年11月27日	農林大学校 (新庄市)	6人	110人
令和元年11月29日	県立山形西高等学校 (山形市) ※	6人	22人

※印の学校は意見交換会を議会棟で開催し、それ以外は各学校で開催した。

(参考) 常任委員会等における関係団体との意見交換会等の状況

常任委員会の県内現地調査等において関係団体との意見交換等を実施した。

常任・特別委員会名	意見交換等の相手方	開催日
総務	東日本旅客鉄道株式会社仙台支社	7月29日
文教公安	酒田特別支援学校	10月7日
厚生環境	角川元気プロジェクト	10月31日
	各県立病院長	12月11日
	一般社団法人山形県浄化槽工業協会	12月9日
	山形県小規模授産施設・共同作業所連絡協議会	11月7日
	一般社団法人山形県老人クラブ連合会	3月2日
農林水産	山形県酪農業協同組合	8月8日
商工労働観光	あつみ観光協会	7月23日
建設	一般社団法人山形県建設業協会米沢支部	8月6日
子ども育成・若者定着支援策	県立こころの医療センター 院長 神田 秀人 氏	10月3日
防災減災・県土強靱化策	東北大学災害科学国際研究所 准教授 大野 晋 氏	9月26日
産業振興・人材活用策	山形大学国際事業化研究センター センター長 小野寺 忠司 氏	10月2日

3 令和2年度議会広報・広聴事業計画

1 広報誌等

(1) 「県議会だより」の発行（県広報誌「県民のあゆみ」との合冊）

項目	「県議会だより」	「県民のあゆみ」
発行回数	年6回掲載 5月号〔2月定例会分〕 7月号〔企画記事〕 9月号〔6月定例会分〕 11月号〔9月定例会分〕 1月号〔企画記事〕 3月号〔12月定例会分〕	年6回 隔月奇数月
ページ数	各号見開き2ページ（1月号は1ページ）	各号16ページ
発行部数	約40万部（全戸配布）	同左

(2) 「県議会やまがた」の発行

項目	「県議会やまがた」
発行回数	年4回（4定例会毎）
ページ数	各号タブロイド版 4ページ
発行部数	3,500部（県内市町村、主要団体、NPO、大学・短大等へ配布）

(3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

項目	若者向け広報紙「県議会ナビ」
発行回数	年1回
ページ数	A4版見開き4ページ
発行部数	4万部（県内高等学校、特別支援学校高等部（全生徒、教員）、大学・短大等へ配布）

(4) パンフレットの配布

議会についての理解や関心を高めるため、「県議会のしおり」等を議事堂見学者等に配布する。

2 議場演奏会と議会見学会

県民に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催する。

3 県議会ギャラリー

より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供する。

4 インターネット

(1) 山形県議会ホームページの運営

日々の議会情報の発信

議員の紹介、定例会・各常任委員会・3特別委員会・議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容、議会トピックスなど、詳細な議会情報を広く県民に発信する。

(2) 議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信する。

(3) 会議録検索システムによる会議情報の提供 【平成4年分から】

「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の会議録全文については、検索システムにデータを格納し、ホームページから閲覧できるようにする。

(4) フェイスブック、ツイッターの活用

山形県公式フェイスブック、ツイッターを活用し、定例会の日程告知、傍聴案内を行うほか、県議会ホームページの「トピックス」のコーナーの情報等をフェイスブック、ツイッターからも発信する。

5 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

県政広報番組枠を活用し、議会広報番組の放映を実施する。

(1) テレビ 県政広報テレビ15分番組による議会活動の紹介

同番組内での各定例会の会期告知等

(2) ラジオ 「地域議員協議会」開催の告知等

6 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の中継を実施する。

7 報道機関（パブリシティ）、各種広報媒体の活用

報道各社に対し、議会活動の積極的な情報提供を行うほか、県広報推進課所管の広報媒体の活用や市町村等の広報媒体を活用した広報に努める。

8 広聴事業（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、引き続き「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を開催する。

山形県議会広報・広聴委員会委員名簿

委員長 澁 間 佳寿美

副委員長 松 田 敏 男

委員 菊 池 大二郎

委員 原 田 和 広

委員 遠 藤 寛 明

委員 相 田 光 照

委員 遠 藤 和 典

委員 梶 原 宗 明

委員 五十嵐 智 洋

委員 関 徹

議場演奏会と議会見学会 参加者アンケートとりまとめ結果について

- ◆ 日 時 令和元年9月25日(水) 午前10時00分～12時45分
- ◆ 会 場 山形県議会棟(本会議場、予算特別委員会室、第1委員会室)
- ◆ 参加者 126人(アンケート回答者数 116人)

1 住まい

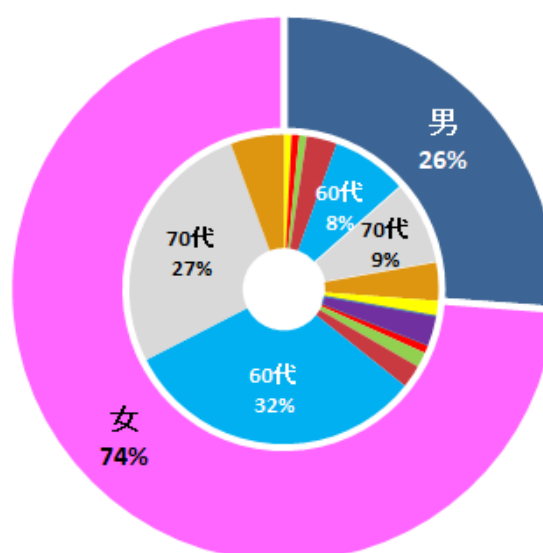
村山地域が最多、次いで置賜地域、最上地域が多い

市町村名	参加者	
	(人)	(%)
村山地域	56	44.4%
山形市	43	
寒河江市	4	
尾花沢市	3	
上山市	2	
村山市	1	
中山町	1	
西川町	1	
大江町	1	
最上地域	31	24.6%
真室川町	29	
舟形町	2	
置賜地域	38	30.2%
米沢市	18	
南陽市	18	
長井市	1	
白鷹町	1	
庄内地域	1	0.8%
庄内町	1	
合 計	126	

2 性別・年齢

男女比は1:3

年齢構成は男は70代、女は60代が最も多い



	10代	20代	30代	40代	50代
男	1	0	1	1	4
女	2	4	1	2	3
合計	3	4	2	3	7

	60代	70代	80代	合計
男	10	11	5	33
女	40	34	7	93
合計	50	45	12	126

3 何で知ったか（複数回答）

新聞記事やHPへの掲載などで一定の効果が認められた

	(人)
新聞	18
ラジオ	6
HP	12
チラシ	6
知人・会社・団体等の紹介	66
その他	14

<チラシを見た場所>

公民館、職場の回覧、町議会事務局、議員事務所など

<その他>

市広報誌など

4 参加した理由（複数回答）

7割が県議会に興味があって参加

	(人)	(%)
県議会と山響両方に興味ある	44	40.3%
県議会に興味ある	32	29.4%
山響の演奏聴きたい	29	26.6%
その他	4	3.7%
合計	109	100.0%

5 参加しての感想

(1) 予算特別委員会の傍聴

9割以上が時間を丁度よいと感じ、8割が満足

時間	(人)	(%)
長い	1	0.9%
丁度よい	101	90.2%
短い	10	8.9%
合計	112	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	26	27.1%
満足	50	52.1%
普通	19	19.8%
やや不満	1	1.0%
合計	96	100.0%

(2) 議会の概要説明

8割が時間を丁度よいと感じ、6割が満足

時間	(人)	(%)
長い	2	1.9%
丁度よい	84	78.5%
短い	21	19.6%
合計	107	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	11	11.1%
満足	52	52.5%
普通	30	30.3%
やや不満	6	6.1%
合計	99	100.0%

(3) 議場の見学

ほとんどが時間を丁度よいと感じ、約8割が満足

時間	(人)	(%)
丁度よい	105	97.2%
短い	3	2.8%
合計	108	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	15	15.8%
満足	57	60.0%
普通	22	23.2%
やや不満	1	1.0%
合計	95	100.0%

(4) 議場演奏会

7割が時間を丁度よいと感じ、9割が満足

時間	(人)	(%)
丁度よい	74	72.5%
短い	28	27.5%
合計	102	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	64	64.0%
満足	29	29.0%
普通	5	5.0%
やや不満	2	2.0%
合計	100	100.0%

6 また参加したいか

9割が再度の参加を希望

	(人)	(%)
参加したい	95	89.6%
演奏会のみ参加したい	11	10.4%
参加したくない	0	0.0%
合計	106	100.0%

7 議場演奏会と議会見学会の感想や県議会に望むこと（自由記述・主なもの）

（1）感想

① 県議会が身近に感じられた、勉強になった

- ・とても良い企画で、県議会の敷居が下がり親近感をもった。
- ・県議会の様子が少し勉強になり興味がでた。
- ・貴重な機会に参加させてもらい、とても素敵な一日だった。

② 今後も実施してほしい、また参加したい

- ・次回は個人的に傍聴したいと思う。
- ・こういった催しは、どんどんやってもらいたい。
- ・初めて参加した。また参加したい。

③ その他

<予算特別委員会の傍聴と議会見学会>

- ・県産米に対する熱い思いを聞き、「つや姫」や「雪若丸」などもさらに誇りを持つと思った。
- ・原稿を読むのではなく、質問をもっと自分の声でやってもらいたい。
- ・初めて議会傍聴をした。沢山の課題がある私達の生活だが、一生懸命頑張ってもらいたい。
- ・議場に山形の地場産業の物を使用していることは、とても誇りに思うし良いことだ。

<議場演奏会>

- ・山響の演奏はなかなか聞けないので大変満足した！
- ・演奏は心が洗われ癒された。素晴らしかった！！
- ・生の演奏会を聞かせてもらい、良い一日を過ごすことができ感謝。

（2）県議会に望むこと

- ・写真撮影などを認め、開かれた議会にしてほしい。時代は変化している。
- ・もっと議場を公開するようなイベント、取り組みをお願いしたい。
- ・県民の生活のため、しっかり取り組んでほしい。
- ・当町に県議がいるので、これからも一層県民のために頑張ってもらいたい。

（3）その他

- ・自分が生活している山形県の県政がどのように運営されているのか、選挙で選ばれた代表者がどのような議会を行っているのか大変興味がある。多くの県民の方々により関心を持ってもらいたい。
- ・県民のため、風邪などひかないで頑張ってもらいたい。
- ・予算特別委員会で寝ている議員がいた。
- ・本日は大勢の中での見学だったが、スムーズな誘導で大変うまく移動出来た。
- ・車いす対応も大変親切で感心した。
- ・言葉使いや物腰が事務的でなく、見学に来て大変嬉しく、楽しかった。

令和元年度 生徒・学生と県議会議員との意見交換会の実施状況について

I 総括

1 実施校

生徒・学生と県議会議員との意見交換会は、平成27年度の試行を踏まえて、28年度から本格実施している。令和元年度は下記の4校で5回実施しており、議員は正副議長、広報・広聴委員を中心に各回6人が出席し、延べ人数で30人、実人数では43議員中26人が意見交換会に出席した。

学校名	開催月日	出席議員数	参加者数	開催場所
山形東高等学校	9月5日(木)	6人	78人	学校(山形市)
庄内総合高等学校①	9月6日(金)	6人	21人	学校(庄内町)
庄内総合高等学校②	9月11日(水)	6人	24人	学校(庄内町)
農林大学校	11月27日(水)	6人	110人	学校(新庄市)
山形西高等学校	11月29日(金)	6人	22人	議会棟
		30人	255人	

2 意見交換の概要

議員による山形県議会の概要等の説明の後、若者の政治参加や県議会議員の活動、県の施策等に関することについても意見交換がなされた。

【意見交換の項目(主なもの)】

(1) 若者の政治参加について

- ① 県議会議員選挙、参議院議員選挙への投票行動について
- ② 政治への興味の有無について
- ③ 若者の政治参加が進まない要因について
- ④ 若者の投票率を高めるための有効的な取組みについて

など

(2) 県議会議員の活動について

- ① 会期中以外の議員活動について
- ② 議員になろうと思った契機等について
- ③ 議員活動で心がけていることについて
- ④ 議員に必要な資質について

など

(2) 県の施策に関することについて

- ① 人口が減少する中で、地元経済を活性化させていくための取組みについて
- ② 公共交通機関の未整備地域における新しいシステムの導入について
- ③ 若者の県内回帰・定着を促すための取組みについて
- ④ SDGs（持続可能な開発目標）への対応状況について など

3 アンケート結果の概要

(1) 意見交換会を実施しての感想

意見交換について、議員の考えを直接聞くことができる点で好意的な意見が多く、意見交換会が議会や県議会議員を身近に感じてもらう契機となったという感想が多数見受けられた。

一方で、特に大人数で実施した学校では、時間配分や質疑の方法について改善を求める意見もあった。

【感想（主なもの）】

① 議員との意見交換について

- ・ 議会議員の仕事がわかってよかった。
- ・ 県議会議員の考えと他の学生の意見を聞くことで視野が広がった。
- ・ 和やかな雰囲気だったので、緊張せずに話をするのができた。
- ・ 質問に対し回答が長すぎるものもあり、分かりにくく感じた。
- ・ もっと簡単な質問をしても良いのではと思った。
- ・ 質問に明確に回答されていないものもあったように感じた。
- ・ 座談会形式で小グループの意見交換もしてみたかった。 など

② 政治や選挙への関心について

- ・ 山形県の政治についてもっと知ろうと思った。
- ・ 選挙に出ようと思った。
- ・ 傍聴席で議会の様子を見てみたい。
- ・ 政治への関心が高まった。私たち若者ができることを考えるいい機会になった。
- ・ 普段聞くことができない意見を聞くことができ、政治に関心を持つことができた。
- ・ 選挙に行くことの大切さを学ぶことができた。 など

③ 議員に対する印象について

- ・ 各議員がビジョンを持ち、しっかりと考えていることがわかった。
- ・ 県をより良くしようとする姿勢が見て取れた。
- ・ 議員に堅苦しいイメージがあったが、親しみやすかった。
- ・ 様々な活動をしていることに驚いた。 など

④ その他（議会の概要説明について）

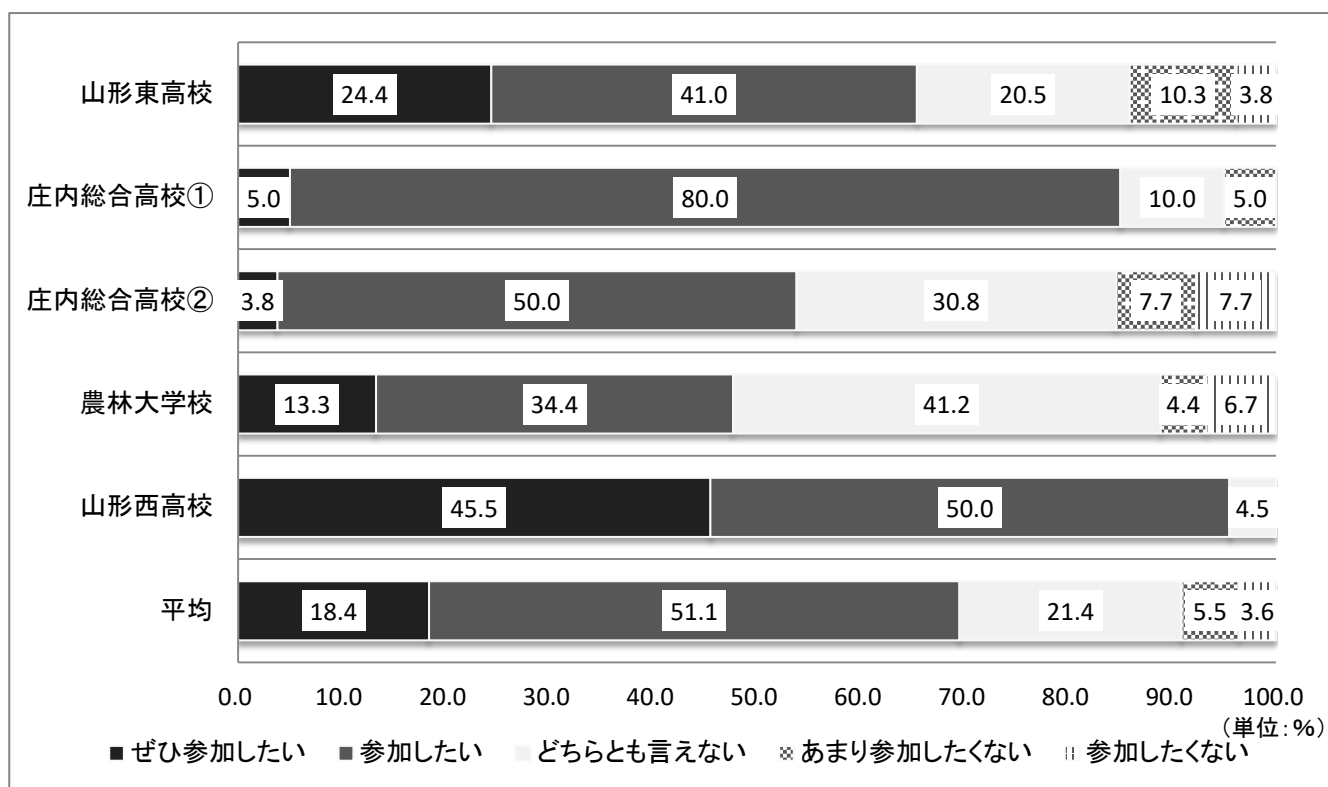
- ・県議会の中でも様々な委員会や役割があることがわかった。
- ・写真等が多く議会の活動をイメージしやすかった。
- ・演奏会や見学会に行ってみたくなった。
- ・写真だけでなく、実際の議会の様子を映像で流すとさらに良いのではないか。
- ・何を主に伝えたいのか分かりにくかった。
- ・スライドの切り替えが早すぎて理解できない部分があった。 など

(2) 今後の参加希望について（実施後のアンケートより）

各校の回答を平均すると、「ぜひ参加したい」と「参加したい」が約70%となっており、全体として好意的に受け止められている。

一方で学校別に見ると、農林大学校においては、発言できなかった学生が大多数で意見交換に参加しているという実感が薄かったためか、「どちらとも言えない」が41.2%と、最も多い状態となっている。

参考／アンケート集計結果



(3) 政治への関心を高め、県議会を身近に感じてもらうための提案

意見交換会を拡充する意見のほか、実際に体験する場としての模擬議会の実施、学校の授業での学習、若者へのPRの強化などの意見が見られる。

このような意見交換会は、政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法として効果があるという意見が多かった。

① 意見交換会の拡充

- ・実施校、時間の増 スーツではなく私服での参加 など

② 選挙権年齢前から政治、議会に触れる機会の設定

- ・中高生を対象とした模擬議会 学校単位の傍聴 模擬選挙 など

③ 若者へのPRの強化

- ・学校へのパンフレットの配布、政治の楽しいイベントの実施 など

④ SNSによる情報発信

- ・InstagramやTwitterの活用（フェイスブックは高校生はほぼ見ない） など

II 学校ごとの実施状況

1 山形東高等学校

開催日	令和元年9月5日(木)
開催場所	山形東高等学校(山形市)
出席議員	鈴木孝、松田敏男、五十嵐智洋、柴田正人、矢吹栄修、伊藤重成
参加者	探究科1年生78名
意見交換の概要	<ul style="list-style-type: none">・コンパクトシティー化に向けた県の取り組み状況について・中心市街地の公共の移動手段の強化について・非居住エリアの大規模農業の推進について・地元大学生の県外就職について・地域経済活性化のための県の施策について・行政が地域経済を担う特定企業に巨額投資を行うことへの是非について・人口減少対策プロジェクトチームについて・農業におけるICTの導入状況について・公共交通機関の未整備地域における新しいタクシーシステム、ウーバーの導入の検討状況について

2 庄内総合高等学校 ①

開催日	令和元年9月6日（金）
開催場所	庄内総合高等学校（庄内町）
出席議員	金澤忠一、菊池大二郎、梶原宗明、青木彰榮、坂本貴美雄、森田廣
参加者	政治経済選択者（3年生） 21人
意見交換の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・議員の持つ権利について ・県議会議員の報酬について ・県議会議員に必要な能力、資質について ・高齢ドライバーの免許返納への対応状況について ・学校設備の改善について ・地域へ専門学校を増やすことについて ・公共交通機関の利便性の向上について

3 庄内総合高等学校 ②

開催日	令和元年9月11日（水）
開催場所	庄内総合高等学校（庄内町）
出席議員	鈴木孝、渋間佳寿美、遠藤和典、石黒覚、加賀正和、野川政文
参加者	政治経済選択者（3年生） 24人
意見交換の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用した授業の実施について ・県議会議員と国会議員、市議会議員の違いについて ・なぜ県議会議員になろうと思ったのか ・最も予算を使う県の事業は何か ・災害に強い建物の設置について ・人口減少への対策としてどのような取り組みをしているのか ・高等学校へのエアコン設置について

4 農林大学校

開催日	令和元年11月27日（水）
開催場所	農林大学校（新庄市）
出席議員	金澤忠一、高橋淳、遠藤寛明、相田光照、渡辺ゆり子、森谷仙一郎
参加者	全学生 110名
意見交換の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・TPP11の影響とその対応策について ・小中学生へ農林業の魅力を伝える取組への支援について ・農林業における持続可能な生産システムの推進について ・若い農林業担い手への支援施策について ・県議会における若者への情報発信等の取組について ・議会が開催されていない時の議員の活動について ・農林業に携わる若者へのアドバイスについて

5 山形西高等学校

開 催 日	令和元年11月29日（金）
開 催 場 所	山形県議会棟（山形市）
出 席 議 員	遠藤寛明、関徹、青木彰榮、渋間佳寿美、榎津博士、小野幸作
参 加 者	生徒会役員等 22名
意見交換の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ S D G s（持続可能な開発目標）への対応状況について ・ 議員活動で県民の方々の意見を聞く際、特に留意していることについて ・ 特別教室へのエアコン設置予定について ・ 地域活性化の取組について ・ スポーツ推進条例について ・ 山形県の強みと弱みについて ・ 進路の考え方について ・ 若者への情報発信の手段について